



無知

むち

ぬ

ちゃん
の

ム
サ
ジ

性感

R-18

成人向
For Adult Only

@DokkoiMigu

オムレツ
マツサージ

「ここが話に聞いてた
マツサージ店ね
あまり気が乗らないけど
マスターのススメだし
断るのも悪いわよね」

「いらっしやいませ
はじめての方ですね
こちらのベッドに
おかけください」

「ふん、男がやるのね…
まあいいわ
適当に終わらせて
さっさと帰りますか」

「でははじめさせて頂きます
リラックスしてください
痛いところや
気になるところはないですか？」

「そうね、しいて言うなら
肩が凝るかしら
あとは腰回り…」

「なるほど…お客様ほど
立派なお胸ですと…
おっと失礼…
女性では胸の重みによる
肩こりに悩む方は多いんですよ
今日はそちらを重点的に
やらせて頂きますね」

「お願いするわ」

ぬぎ

「んっ…んっ…」

少し触り方が気になるけど
力強いし
マッサージも悪くないわね…

「ふふっ…どうですか
私のマッサージは…
女性から評判なんですよ」

「御託はいいから
さっさと進めて…」

グッ
グッ
グッ

「失礼いたしました…
では腕をあげてください
腋や胸の横周辺も
マッサージしていきますね」

「ん…そんな所までやるの？」

「ご安心ください
これもマッサージですから
肩の凝りをほぐすのに
必要な施術なんですよ」

「そうなの…?」
「まあいいわ、さっさとやって」

「失礼いたします」

んっ…んっ…♡
男に腋や胸回りを
触られるのって変な感じね…
なんだか落ち着かないし

ゆさっ!

ゆさっ!

ふふ…お客様
やはり胸の重みでかなり
凝っておられる様子…

ちよつとツ!!
あの…胸は…

これは直接マッサージして
凝りを解消したほうが
良さそうですね

「ん…ツ
…あっ…♡」

もみっ♡

「ここ安心ください
マッサージですから
リラクゼーションして頂かないと
マッサージの効果は薄れますよ」

「そ、そうなの……？
マッサージなら仕方ないわね
んっ……んっ……あっ♡」

とはいえ
男の人におっぱい
触られるのって
恥ずかしいわね……

「んあッ……やあっ♡
そんなに……揉みしだいちゃ
……あっ♡」

もみもみ

それになんだか
触り方がイヤらしい……
でもただのマッサージなんだから
気にしちやダメ……

「ふふっ、では少し強めに
マッサージしますよ
痛かったら言ってください」
「気持ちよく感じるのは
マッサージが効いている証拠です
そのまま身を委ねてください」

「そ、そうなの？
あっ……んっ……ああッ♡
でも……声が出て……
恥ずかしい……♡」

もいにゅ♡

もいにゅ♡

「おや、ごちらも
硬くなってしまってますね
マッサージュしないで…」
♡♡♡♡♡♡♡♡

「やあ♡
そこは…乳首♡
…ああん♡」

どうして…
おっぱいでこんなに
気持ちいいなんて…

「あっあっ♡ダメッ
なんかぎちゃうッ…♡」

「♡♡♡♡♡」

はあはあ…♡

何今の…凄く…
気持ちよかった…♡

「ふふっ
マッサージュは気に入って
頂けたようですね」

ひびっ

あ♡

あ♡

ひびっ

ひびっ

「では次は腰周りを
やっつけていきますね…
うつ伏せになってください…」

やだ…この格好…
たぶんパンツ見えちゃってる…

「…お客様のとおっしゃる通り
腰も少し凝ってますね…」

でも相手の人は真面目に
マッサージしてくれてるだけ
なんだから
変な意識持ちっちゃだめ…

むいっ

むちっ

じっ

あ

「専用のマッサージ液を
使いますね…」

「んっ…んっ♡
…あっ…♡」

「痛いところは
ないですか…?」

「だ…大丈夫よ…
…んっ…♡」

ふとももの裏やお尻まで…
こんな所まで男の人に
触られてるなんて
恥ずかしすぎる…

「…その触り方…
…んあ…♡」

おるん

あ

あ

んっ♡

「んっ…んっ…♡」

「状況や感じたことをそのまま声に出しててくださいよりマッサージの効果が高まります」

「そ、そうなの…♡
…じゃあ…」

「お尻と腰、ふとももをマッサージされて…
恥ずかしいのに…なんだか股間が熱くなって…んっ♡
触り方も段々イヤらしくなって…
指がお尻や股間へと近づいて…
ああッ…そんな所ッ♡」

「ふふっ…そのまま続けてください」

んっ♡

「は…はい…
たくましい指が…私の股間へと近づいて…んっ♡
ギリギリ私の…に触れないようにイヤらしく回り回って…あッ♡
下着の上から…あッ…あッ…
私の股間を…
…広げたり閉じたり…
…何度も繰り返して…♡」

「ああ…ッ♡
直接見られてないのに
恥ずかしい…ッ♡
ああッ♡それイヤらしいの…♡
もっと…欲しくなっちゃう…ッ♡」

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

「ではそろそろ
直接触っていきますね」

「ああッ…そこ触っちゃッ
やだ…そんな優しく…
上下に擦っちゃッ…ッ♡♡♡
あッあッ…あッ♡」

「ふふっ…
ほら…感じたことを
声に出してください…
股間部分は…おまんここと
言ってくださいね」

「わ…私の…
お…おまんこが…
先生の指で…
イヤらしくイジられて…♡」

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

もう片方の手で…
私の腰を…胸を…
身体中這い回るように
マッサージして…♡

「イヤらしい手つきで
くちゅくちゅつて
おまんこを…
円を描いたり擦ったり…
何度も何度も…♡

「ああ…ッ♡
凄く…気持ちイイの…♡
マッサージも…
おまんこイジられるのも…
…気持ちイイッ♡♡♡♡」

自然と私は先生とキスをしていた…とろけた頭で男を求め…身を委ねる…

「ん…ちゅ…♡
…ん…ん…♡」

やだ…こんなの…イケないのに…でも…気持ち良くて…幸せ…♡

「くちゅ…ちゅっ♡
あっ…ん…ん…んはあ…♡」

しゅ♡
しゅ♡

しゅ♡
しゅ♡

段々と指の動きが激しくなりイヤらしい音が部屋中に響く…

「あっあっあっ…♡ダメツ♡おまんこそんなにしゅ♡…♡なんか…キチャう…あツ♡」

「安心してそのままイッてください」

「ああ…ツ♡イクツ♡…イクツ♡ああ…♡あああああツ…♡♡♡」

あッ♡

あッ♡

数日後

「ありがとうございます
またご来店して
くださったのですね」

「せっかく勧められたから
もう少しくらい通わないと
悪いと思っただけよ…」

じわっ

とは言いつつも
また来てしまった…
あの日のマツサージを
思い出すと身体が火照って…
アソコの疼きが抑えられない…♡

ではこちらへ…
これをお飲みください
身体が温まり
マツサージ効果が促進される
作用があります

「くっ…
確かに身体が温まる
気がするわ…」

じわっ

「さらに効果を
高めるために
目隠ししますね」

「……………」
見えないと
何されるかわからなくて
ドキドキするわね…

男は私の身体を
指でなぞるように
優しく触れてきた…

んっ♡

びん♡

肩…首すじ…
背中…おへそ…ふともも…
どこを触れられても
身悶え…イヤらしく
身体を震わせる…

いつの間にか
私は男のされるがままに
感じ…喘いでいた…

「…んっあっ…♡
…それダメツ…♡
やあ…ん…あっ…♡
…はあん…あツ♡」

「んっ…んっ♡
あっ…そんな…
…優しい触り方ツ♡…はあ♡
…あんツ♡…ん…あっ…♡」

目隠しをされ
目が見えないコトもあつて
指が触れる度に
私の身体は敏感に反応する…

んっ♡

んっ♡

…もじもじ…

「あの…先生…
…その…お手洗いに…」

「ご安心を…こちらに
バケツを用意しました
生理現象を観察するのも
マッサージの一環ですので…」

もじもじ

「そうなの…?
恥ずかしいけど
先生が言うなら…」

んっ…
おしっこする所を
見られるなんて…
思っていたより
恥ずかしいわね…

…じー…
んっ…
でも…視線を感じると
ドキドキして…

なむっ…♡

「ぎゃっ…♡
あっ…そんな…ダメッ…♡
…いま…おまんこ触っちゃ…♡
…ああッ♡」

んっ♡
あ♡

「ああ…だめ…♡♡♡
…出る…♡♡♡」

「しゃー…
チヨロチヨロチヨロ…♡」

「やあ…恥ずかしい…♡♡」

「ぶるるん」

「ちゅんんんん」

「ふふっ…健康的な
おしっこですね…」

「やあ…言わないで…♡
ダメ…おしっこまらな…♡
あつ…ん…はあああ…♡」

「んー
んー」

「ちゅん」

「やだ…おしっこしながら
キスするなんて…♡
…あつ…でも
舌からめながらするの幸せ…♡
もつとキスしていたい…♡」

「ちゅん」

「専用のマッサージ器具
使いますね」

「んあああ…ツ♡
なにこれ…ぶるぶる震えて…♡
…んはあ…あんっ…♡
…気持ちイイ…ツ♡」

「ああ…ツ♡
…おまんこに入れちゃ…♡
あんっ♡…あっ…んあっ♡」

「失礼します…」

「ひいッ♡
そこはお尻…ツ♡」

指でほじほじしちゃ…ああ…♡
ダメッ…力が入らない…んっ♡
…あっあっ…あっ…♡
どうして…お尻ほじられるの…
…凄くイイ…♡」

「ぶぶっ…
良い顔をしていますよ…」
「イヤ…いま見ちゃ…♡
やあ…恥ずかしい…♡」

おまんこ乳首にくわえ
お尻ほじられながらの
濃厚キス…♡
なんて気持ちイイの…♡♡♡
こんなの絶対クセになっちゃうッ♡

「スボスボ…♡」

「ああ…ああ…
…気持ちイイ…
全部気持ちイイの…
もっとおも…もっとおも…」

…気持ちイイ…
…気持ちイイ…
…気持ちイイ…
…気持ちイイ…

「ああ…
ダメ…ダメ…
気持ち良すぎて…
…イッちゃう…」

ビクビク
ビクビク
ビクビク

「こんな気持ちイイコト
されちゃったら…
…帰って…また…
一人でシチャう…」

「はあはあ…
凄く良かった…
あつ…まだ余韻が残って…
…んっ…あ…」

ドッ

ビク
ビク

一週間後…

「どうですか…
マッサージおちんぼ様の
感触は…」

「あつあつ…ツ…イイです…♡
奥までイヤらしく擦られて…♡
あああ…凄くイイのお♡
もつと…もつと突いてえ♡♡」

「あたま沸騰しちゃっしん♡
おちんぼッ…♡
おちんぼ好きィ…♡」

「ふふ…
では少し激しく
いきますよ…」

「あああつ…あツ♡
…気持ちイイ…ツ♡
熱くて硬いのが…
私のおまんこから
出たり入ったり…♡」

「蹂躞されてる感じが
たまらないのお…♡
…おちんぼで私の
恥ずかしいおまんこ…♡
いっぱいマッサージしてえ…♡」

「おちんぼ♡ おちんぼ♡

「そろそろ
射精しますよ…」

「びびるNONO♡♡♡」

「ひぎィ…ッ♡♡♡」
「ああ…ッ…あ…♡♡♡」

初の膣内出しに
未知の快感で
脳が焼かれる…♡

「ナニコレ…♡
熱くて…凄く
気持ちイイのが奥に…♡♡
…頭真っ白になっちゃうッ♡
…あああ…これ好きィ…♡」

びびる
びびる
びびる

びびる
びびる

びびる
びびる

あ♡♡

あ♡♡

あ♡♡

「はあはあ…♡
先生…今の…
膣内出しセックス…
犯されてる感じで…好きです♡
もっと…
今の激しいマッサージ…
もっとお願いします…♡」

あ♡♡

いつの間にか私は
おちんぼマッサージの
快感に溺れ…毎日のように
マッサージ店を訪れるように
なっていた…♡

あ♡♡

あ♡♡

あ♡♡

発効日 2019年12月29日
コミックマーケット 97



サークル ミグミグ荘
dokkoi7045.blog63.fc2.com/

発行者 **どっこい みぐみぐ**

Twitter @DokkoiMigu

印刷所 (有)スズトウシャドウ印刷
www.suzunet.co.jp/index.html

24

※18歳未満の閲覧、所持は法律で
禁止されております。
無断転載、データ化、ネットへの
アップロード厳禁デス(=ω=)

